

株式分析プラットフォーム

— 注目銘柄に絞った分析アプローチ —

1 背景

個人開発の株価分析ツールは数多く存在するが、**コイントス（勝率50%）を超える**ものは少ない。

2 制約

yFinance等の**API制限**により、東証全銘柄の株価データを取得することが困難。

3 着眼点

全銘柄を網羅的に分析するより、**「注目が集まる銘柄」**に絞った方が効率的ではないか？

4 アプローチ

静的銘柄

- Core30 (TOPIX核心銘柄)
- 政策銘柄 (Claude Codeで選定)

動的銘柄

毎日23時に**Grok (xAI API)** で「Xで話題の上昇期待銘柄」を15-20銘柄選定

5 仮説

注目が集まる銘柄に絞って分析することで、

**コイントス以上の
勝率・リターン**

が期待できるのではないか。

株式分析プラットフォーム

— 技術スタック & 開発スタイル —

技術スタック

Backend



Frontend



Infrastructure



Auth



CI/CD



AI



開発スタイル

Vibe Coding

AIと対話しながらコードを書く開発手法。
要件を伝えるだけで設計からデプロイまでAIがサポート。

ハイライト

Grok AI

毎日の銘柄選定 + マーケットサマリー自動生成

AI駆動開発

Vibe Coding + IaC (Terraform) でインフラも含めAI対応

yFinance

長期分析 + リアルタイムデータ (バックエンド/フロントエンド両対応)

Passkey + Cognito

ログイン管理 + パスワードレス認証で堅固なセキュリティ